

竹原市景観計画を策定します

景観計画とは、良好な景観を形成する区域や基本理念、建物のデザインや壁面位置、色の規制などの行為の制限に関する事項などを定めるものです。

本市では、今ある良好な景観を守り・育て・次世代に引き継いでいくため、令和元年度から令和2年度で、景観計画の策定を進め、魅力ある景観づくりに取り組んでいきたいと考えています。

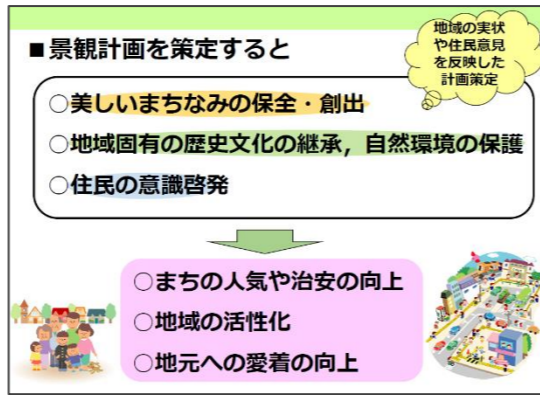
竹原市景観計画策定委員会を開催しました

令和元年10月29日に第1回竹原市景観計画策定委員会を開催しました。

委員会は、景観計画策定に必要な事項の協議を行うため、学識経験者、関係団体の代表者などで構成されています。

今回の委員会では、「竹原市の景観の現状と課題」、「景観に関する市民・高校生アンケート調査の結果」などについて報告し、意見聴取を行いました。

次回の第2回委員会では、景観形成の基本方針や重点地区の選定などについて、審議を行います。



委員会の様子



委員長挨拶

■委員会で出された主な意見

○景観計画は、今ある素晴らしい景観を「守る」という観点と守ると同時に「活かす」という観点が大事である。計画策定は規制されるというマイナスのイメージがあるが、まちの活性化に景観計画を使うようにしてほしい。

○アンケート結果を見ると、市民は竹原の歴史やこれまでの知識などから景観を考え、高校生は自分達の手で出来る景観づくりを考えている。市の景観づくりに住民の力が非常に期待できると感じた。

『竹原市景観17選』の写真 募集

市内の好きな景色や気に入っている風景、次世代に残したい景観などの写真を募集しています。

- 応募写真: 市内の景観写真(昔の写真から現在の写真まで応募可能です。)
- 応募方法: 応募写真と応募用紙(都市整備課に備付または市ホームページからダウンロード)を都市整備課まで持参・郵送・メールで提出してください。

※詳しくは右のQRコード、または『竹原市 景観17選』でご検索ください。



問い合わせ

竹原市役所 建設部 都市整備課

TEL:0846-22-7749 FAX:0846-22-8579 E-Mail:toshi@city.takehara.lg.jp

令和元年度

竹原市・景観づくり通信 Vol. 1



竹原市景観計画

第1回景観づくり勉強会

2019年11月23日(土) 10:00~12:00
道の駅たけはら2階 地域交流スペース

第1回テーマ

『竹原市の“今”を見つめよう』
市の景観資源や魅力の発掘

竹原市の魅力ある景観づくりに向けた取組みがスタートしました！！

竹原市景観計画の策定と魅力ある景観づくりを行うため、市民のみなさまと行政と一緒に景観について、学び・考え・取り組む「景観づくり勉強会」を開催しました。



■当日のプログラム

10:00~	開会
10:30	景観計画について、竹原市の景観の現状について
10:30~	【講演】たけはらのたから ～景観資産と景色を育てること～ 講師: 広島工業大学工学部 今川朱美准教授
11:00	
11:00~	【グループワーク】 竹原市の魅力的な場所や資源について意見交換
11:55	
11:55~	今後の予定、閉会
12:00	

第1回景観づくり勉強会には、市内・市外から19名の方が参加されました。

当日は、市担当者から、景観計画の策定の趣旨や市の景観の現状などを説明した後、広島工業大学の今川准教授の講演で、景観づくりの考え方や景観を構成する要素(建物や道路など)について、竹原市の写真や動画を使って分かりやすく説明していただきました。

グループワークでは、3つの班に分かれ、持ち寄ったお気に入りの景色などの写真を交えて、市の魅力的な場所や資源について意見を出し合いました。



第2回勉強会の予定

次回勉強会は、令和2年1月中旬頃に『竹原市の景観づくりの“将来”を考えよう』をテーマに開催予定です。竹原市の魅力ある景観づくりに興味のある方は是非ご参加ください。

勉強会開催の詳しい内容が決まりましたら広報誌、市ホームページ等でご案内します。

第1回景観づくり勉強会の結果

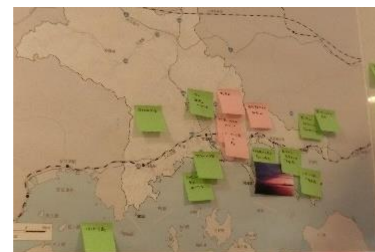
Aグループ(主な意見)

お気に入りの景観・魅力

- 的場公園から見る島々の景色。日によって変わる夕焼けが美しい。
- 長浜から東の忠海高校までの海岸線の景色
- 黒滝山や朝日山からの眺望：山頂からの日の出・日の入がキレイ
- 宿根の大桜：山の高所から集落を見守り続けてきた歴史ある風景
- 賀茂川の河口：江戸時代からの治水構造が継承された風景
- 町並み保存地区：笠井邸からの景色、胡堂と山々のバランスが良い
- 仁賀の田園風景や小吹の竹林：町並みや沿岸だけではなく竹原の大事な資源

その他

- 目に入るもの全てが素晴らしい景観であるが、それらを発掘するためには、まず私たち住民が主となって自らの感性を育てて、来訪者へ発信していくことが重要



Bグループ(主な意見)

お気に入りの景観・魅力

- 的場公園から見る海や桜
- 国道 185 号や JR 呉線から見える海の景色、船からみる景色
- 三井の煙突「竹太郎」：竹原に帰ってきたときに落ち着く風景
- 二窓の神明さん、宮床まつりや祇園まつりなどの風景
- 大久野島の海、遺跡、うさぎ
- バンブー公園：桜が大変きれい、竹の公園
- たまゆらな人のいるまち、竹と桜
- 吉名漁港、竹原港の夜の景色

その他

- 竹原市に来訪する人の多くは車であるため、国道などの沿道景観に力を入れていくべき



Cグループ(主な意見)

お気に入りの景観・魅力

- 内堀公園の双子の木：2本並んであるため、シンボリック
- 瀬戸内の風景：黒滝山の農道から眺める風景がよい
- 東野の水田：特に水を張った水田に山が映るのが美しい
- バンブー公園の満開の桜：朝の公園に咲く桜がキレイ
- バンブー公園から見る瀬戸内海：展望台があり瀬戸内海が見渡せる
- ゴルフ場からの多島美：昼だけでなく夕方や夜景もキレイ
- 赤土のじゃがいも畑：赤土の畑と背景にある瀬戸内海が美しい

その他

- ウォーキングしながら楽しめる景観づくりを進め、健康長寿を延ばすことが重要。
- 計画をつくって終わりではなく、生活に直結させることが重要
- 住民と行政が一緒になって草木の管理を行うことが重要

